

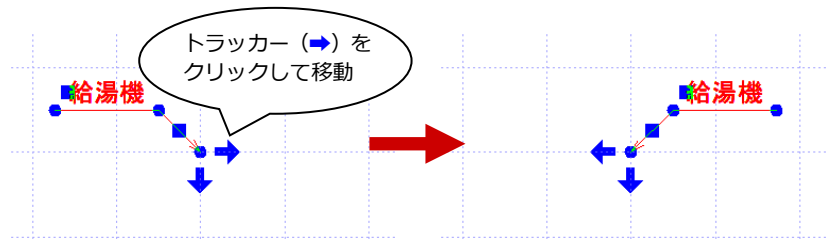
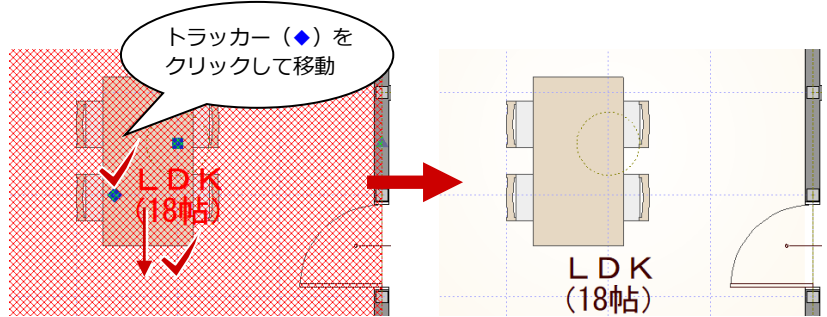
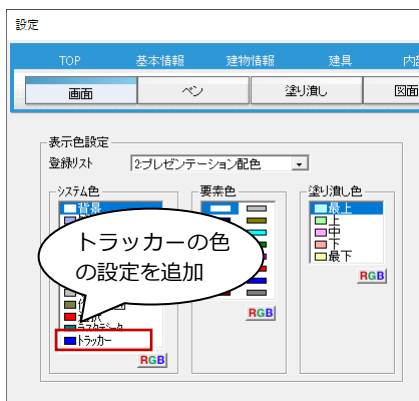
ARCHITREND リフォームエディション Ver.7の新機能

共通

トラッカー（文字・記号などの移動）

部屋文字移動（バルコニー・ロフトなど） 建具記号の移動 寸法線文字移動 引き出し文字の反転などトラッカーの機能を拡張しました。

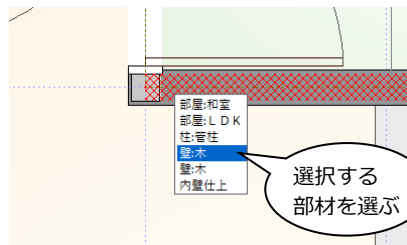
専用コマンドを選ばなくても、直感的な編集が可能になります。



共通 - 重複データ選択時の操作改良

部材が重複しているところを選択したときに 選択候補リストを表示して、目的の部材を指定できるようにしました。

別の部材が選択されて、選択しなおす必要がなくなります。



※ 選択の操作モードが「要素範囲」「要素」のみ有効です。

3DC オリジナルカタログ対応

3D カタログサイトでオリジナルカタログを複数保持できる対応に伴い、リフォーム ED でもオリジナルカタログを指定して保持、表示できるようにしました。

建材をセット表示できるようになり、住宅シリーズなどを作成し初期表示を絞るため、選択の手間が軽減します。

3Dカタログ.com 有料会員Aプランの方も利用できるようになります。

➔ [オリジナルカタログについて](#)



分類毎に検索条件初期値記憶

リフォーム ED から分類別の 3D カタログマスタの建材を開いたときに、最初に関くメーカーや製品の条件を登録できるよう対応しました。

登録しない場合は、前回設定した条件で開きます。

建材マスタを開いた際に、使いたいメーカーや製品に到達しやすくなります。

※ 素材、部品は、グループシリーズも初期値に登録されます。

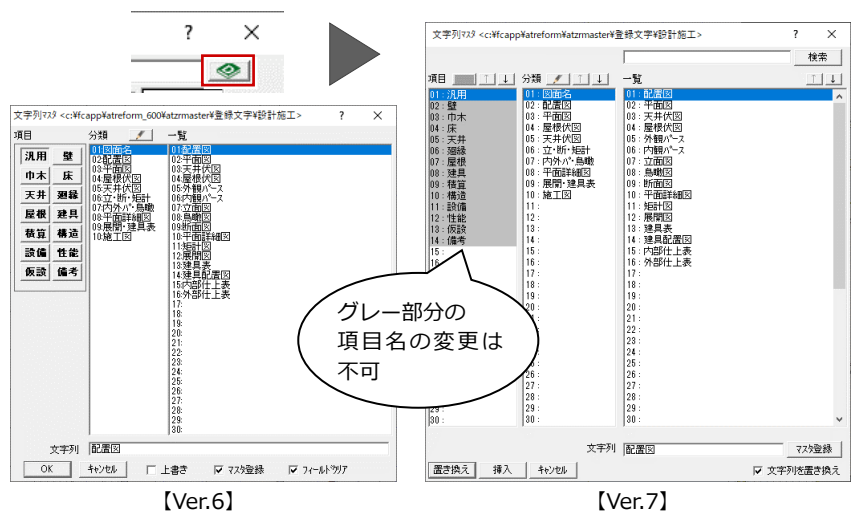


文字列マスタの改良

文字列マスタの編集を拡張しました。

項目名を設定して、30 件まで追加可能にしました。項目名の一覧の入れ替えも可能です。また、検索機能を追加して探しやすくしました。

編集の手間が軽減し、マスタに登録されている文字列が選びやすくなります。



R 階に床厚・窓高設定追加

小屋裏にロフトや収納室などの部屋を設計する際、R 階の床厚と窓の高さを設定できるようにしました。

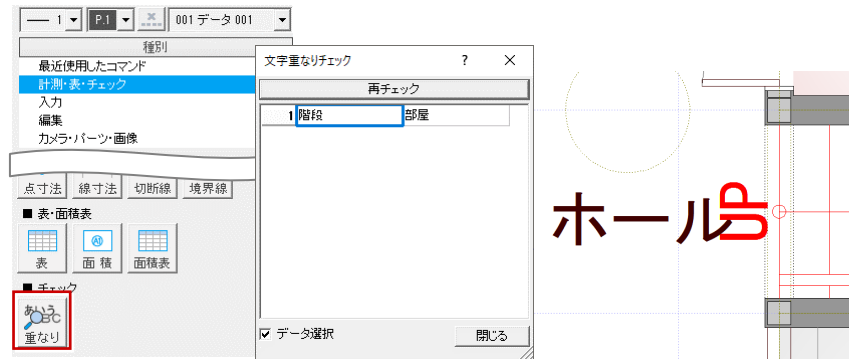
従来は R 階が床厚 0mm に固定されていました。また、R 階の窓の高さ位置を設定できるようになり、サッシの高さを編集する手間が軽減します。



汎用

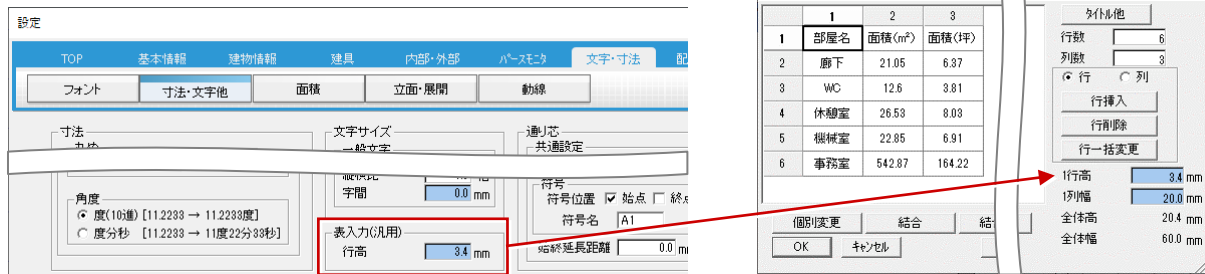
文字・寸法の重なりチェック機能

図面内で文字の重複を検出して重複箇所をお知らせする機能を追加しました。
印刷する前に文字の重なりをチェックすることで、印刷をやり直す手間が軽減します。



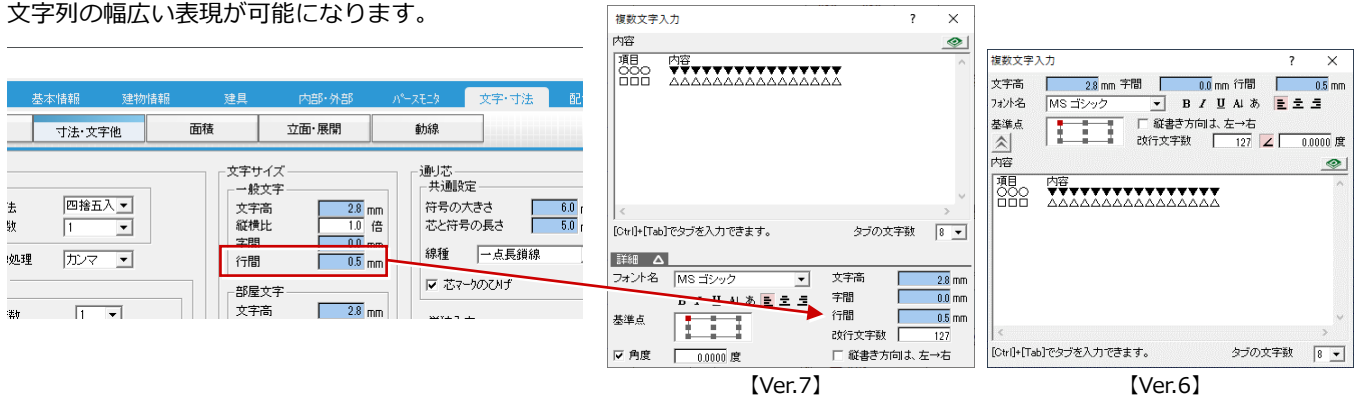
表の行高の初期値追加

表の1行の高さの初期値を任意で変更できるようにしました。
表を編集する手間の軽減につながります。



複数文字の行間の初期値追加

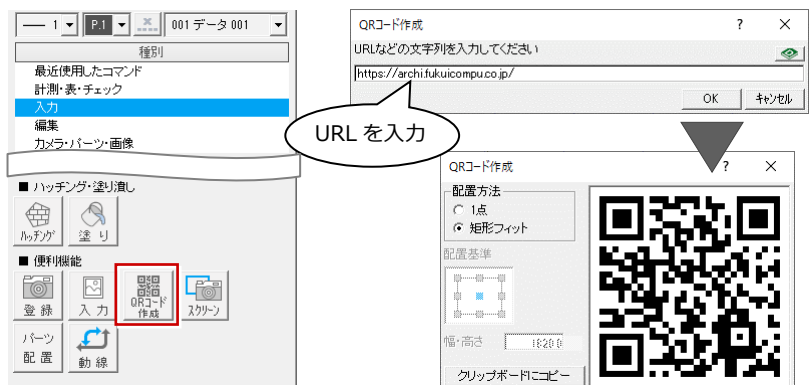
複数文字列の行間の初期値を設定できるようにしました。
文字列の幅広い表現が可能になります。



QRコード作成に対応

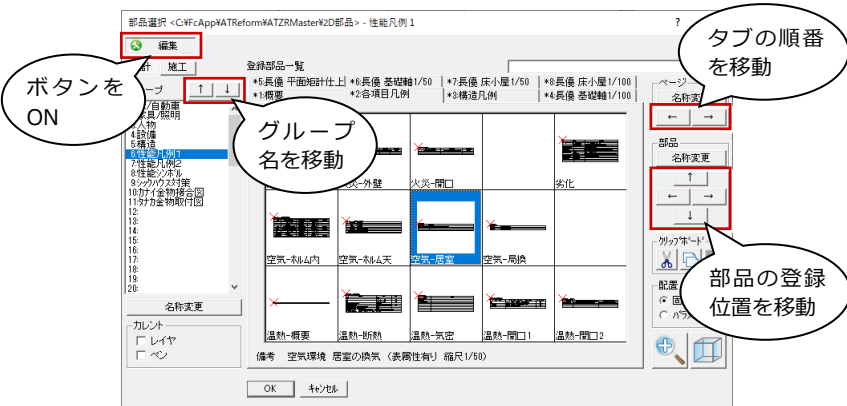
QRコードの画像を作成できるようにしました。
図面からパノラマ画像を呼び出したり、会社のWebサイトを呼び出せるQRコードが簡単に作成できます。

※ QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



パーツの編集モードを追加

パーツ配置で、2D 部品のグループとページの順番を入れ替えできるようになりました。また、部品の登録位置の移動も簡単にできるようになりました。
使用頻度の高いものを上位に移動するなどの操作がやりやすくなります。



複数のパーツをクリップボードへ

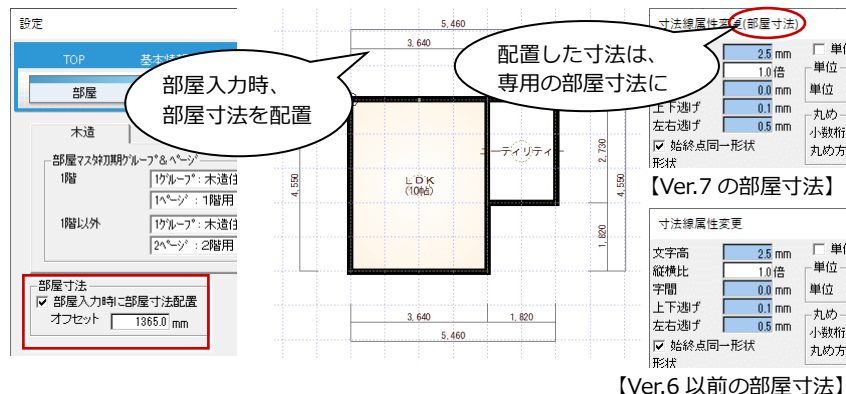
Ctrl+セル選択や Shift+セル選択でパーツを複数選択して、クリップボードへのコピー、切り取りをできるようになりました。
個別に選択可能になり、操作性がよくなります。



基本図面

部屋入力時寸法自動

部屋入力時に部屋寸法を配置するよう対応しました。
間取りの検討段階から、建物全体のボリューム感がつかめるようになります。
※ Ver.6 以前に作成した部屋の寸法線がある場合は、一旦部屋の寸法線を削除してください。



根拠表示の改良（丸め）

面積など丸めの根拠がわかるように、表に根拠を表示できるようになりました。
丸め方を表示することで、審査機関からの丸めの確認が減り、ユーザーも確認する手間が減ります。

部屋面積表

No	部屋名	面積(m ²)	面積(坪)	面積(帖)	工事	表記法
1	玄関	1.66	0.50	1.0		m ² (帖)
2	ホール	1.66	0.50	1.0		
3	階段	1.66	0.50	1.0		
4	物入	1.66	0.50	1.0		
5	トイレ	1.66	0.50	1.0		
6	洗面脱衣室	3.31	1.00	2.0		
7	UB	3.31	1.00	2.0		
8	LDK	20.70	6.26	12.5		
合計欄						

丸め方法: 四捨五入 丸め方: 四捨五入 小數桁数: 2

[Ver.6]

部屋面積表

No	部屋名	面積(m ²)	面積(坪)	面積(帖)	工事	表記法
1	玄関	1.66	0.50	1.0		m ² (帖)
2	ホール	1.66	0.50	1.0		
3	階段	1.66	0.50	1.0		
4	物入	1.66	0.50	1.0		
5	トイレ	1.66	0.50	1.0		
6	洗面脱衣室	3.31	1.00	2.0		
7	UB	3.31	1.00	2.0		
8	LDK	20.70	6.26	12.5		
合計		43.07	12.92	25.0		

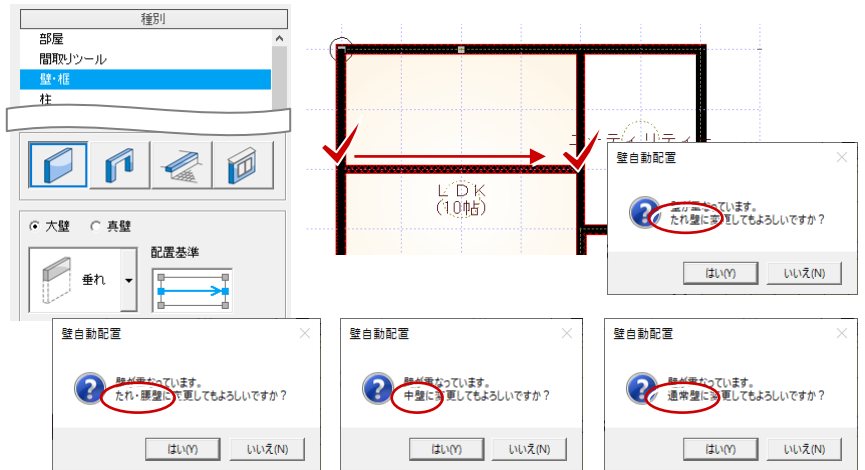
丸め方法: 四捨五入 丸め方: 四捨五入 小數桁数: 2

丸め方表記: 丸め方表記

[Ver.7]

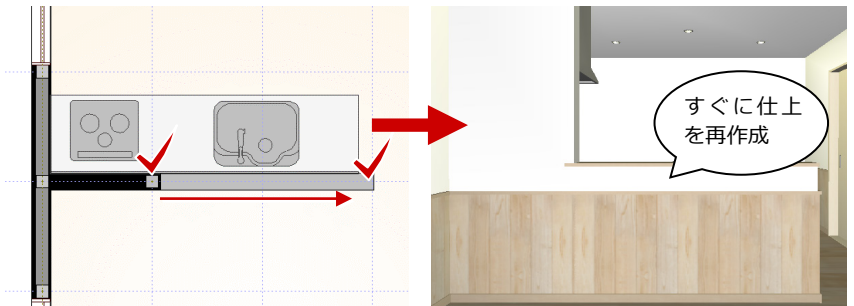
壁の重複入力時の自動処理

違う種類の壁を重ねて入力したときのメッセージを変更しました。重複入力後の壁がどのようになるのかわかるようになります。今までは、重複入力後の壁を確認する必要がありましたが、再確認の手間が軽減します。



柱壁の追加入力時の自動仕上作成

柱・壁の入力時に、壁仕上がりが配置されるようにしました。また、壁を重複入力して壁のタイプが変わっても、変更された壁の状況に合わせた仕上げになるようにしました。「袖壁を追加したがパースモニタに出てこない。」ということが軽減されます。



建具記号の段数追加

建具記号の最大段数を 8 段まで拡張しました。表示できる項目数が増えることで、建具記号の表現が向上します。また、項目数が不足して追加編集していた手間の軽減につながります。



建具記号の項目追加

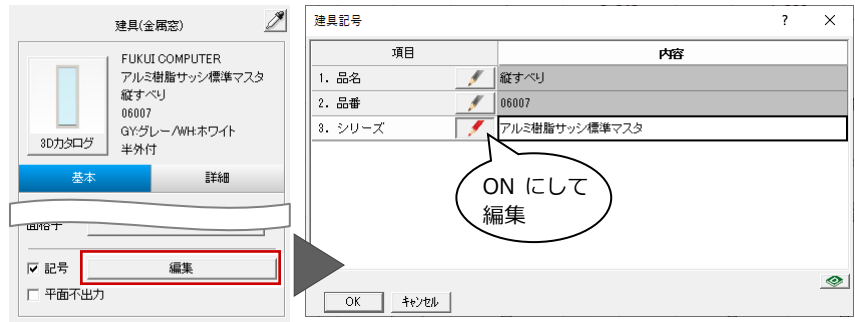
建具記号に以下の項目を追加しました。
 「窓種名 (建具種別)」
 「建具幅×建具高 (内法)」
 「建具幅×建具高 (外法)」
 「寸法 WH」とは異なり、建具幅高を省略せずに表示可能になります。窓種名の表示も可能になります。

- ※ 戸の外法には下枠見付を含みません。
- ※ 窓種名は、3D カタログマスタで編集可能です。



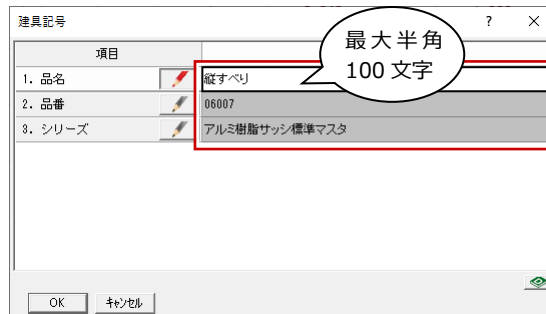
建具記号の編集対応

建具記号のすべての文字列を、建具のプロパティで編集できるようにしました。マスタを編集することなく建具記号の文字列を変更できるようになります。再描画で建具記号の内容が戻ることがないため、再編集による手間を軽減できます。



建具記号の最大文字数の追加

文字の制限を半角 100 文字まで拡張しました。今まで文字切れしていたような品名などもすべて表示できるようになります。



階段廻りの立体作成の改善

階段廻りの躯体、壁仕上の作成条件を見直しました。パースモニタで穴が空くことが減り、編集手間が軽減されます。



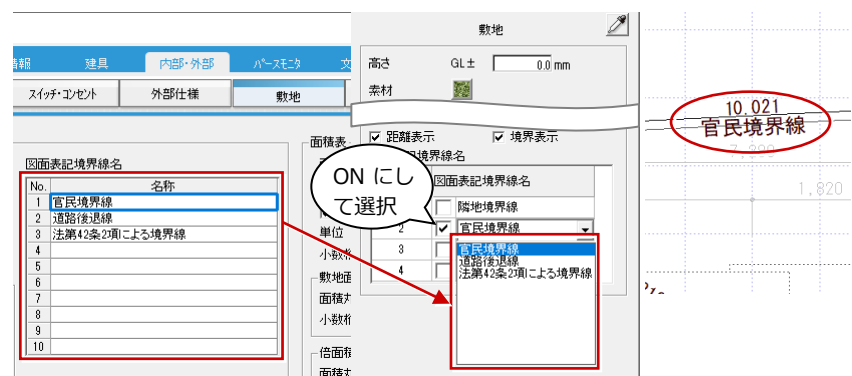
【Ver.6】



【Ver.7】

敷地境界線名称のカスタマイズ

敷地境界線の名称を変更できるようにしました。みなし境界線の名称など、自社の表現に合わせることができるようになります。

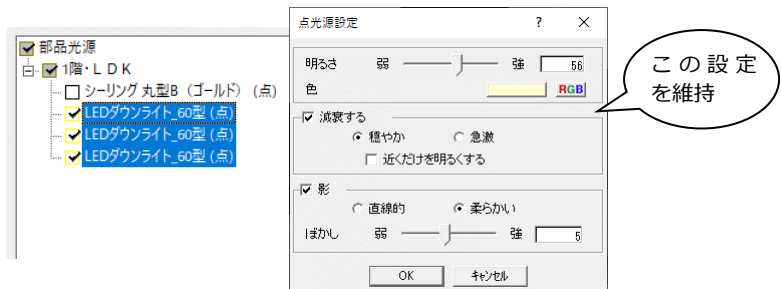


プレゼン

パース再作成時光源データを保持

パースで再作成した際も光源データを保持できるようにしました。

照明器具（光源部品）の移動や再作成をした際に、光源の設定が維持できるため編集手間の軽減につながります。



パノラマ画像の JPEG 保存

パノラマ画像を作成したときに JPEG ファイルとしても保存できるようにしました。

パノラマの情報が埋め込まれているため、JPEG ファイルをそのまま LINE や Facebook にアップロードして閲覧が可能です。

